# ATDE

# **Install Guide**

Version 1.0.0

2006年12月28日

株式会社アットマークテクノ http://www.atmark-techno.com/

Marmadillo公式サイト http://armadillo.atmark-techno.com/

SUZAKU公式サイト http://suzaku.atmark-techno.com/

# 目次

| 1. | はじめ      |                       | 1  |
|----|----------|-----------------------|----|
| 1  | .1. 対象   | となる読者                 | 1  |
| 1  | .2. 本書   | の構成                   | 1  |
| 1  | .3. イン   | ストールPCの推奨スペック         | 2  |
| 1  | .4. フォ   | ントについて                | 2  |
| 1  | .5. コマ   | ンド入力例の表記について          | 2  |
| 1  | .6. 注意   | 事項                    | 2  |
| 2. | Window   | ws上にATDEを構築する         | 3  |
| 2  | .1. イン   | ストールの前に               | 3  |
|    | 2.1.1.   | 準備するもの                | 3  |
|    | 2.1.2.   | ATDEイメージの展開           | 3  |
| 2  | 2.2. VMF | Playerのインストール         | 3  |
| 2  | .3. ATD  | Eの起動                  | 7  |
| 2  | .4. アン   | インストール                | 8  |
|    | 2.4.1.   | VMPlayerのアンインストール     | 8  |
|    | 2.4.2.   | atdeフォルダの削除           | 8  |
| 3. | Linux_   | 上にATDEを構築する           | 9  |
| 3  | .1. イン   | ストールの前に               | 9  |
|    | 3.1.1.   | 準備するもの                | 9  |
|    | 3.1.2.   | ATDEイメージの展開           | 9  |
|    | 3.1.3.   | kernel-headersのインストール | 9  |
| 3  | .2. VMv  | vareのインストール           | 10 |
|    | 3.2.1.   | RedHat系ディストリビューションの場合 | 10 |
|    | 3.2.2.   | Debian系ディストリビューションの場合 | 10 |
|    | 3.2.3.   | インストーラ非使用の場合          | 12 |
| 3  | 3.3. ATD | Eの起動                  | 14 |
| 3  | .4. アン   | インストール                | 16 |
|    | 3.4.1.   | VMwareのアンインストール       | 16 |
|    | 3.4.2.   | atdeディレクトリの削除         | 16 |
| 4. | Appen    | dix                   | 17 |
| 4  | .1. シリ   | アルポートに関して             | 17 |
|    | 4.1.1.   | 動作確認方法                | 17 |
|    | 4.1.2.   | 動作しない場合の対処方法          | 17 |
| 4  | .2. ATD  | Eの画面解像度を変更する          | 18 |
|    | 4.2.1.   | ATDEを起動する             | 18 |
|    | 4.2.2.   | 画面解像度を変更する            | 18 |
|    | 4.2.3.   | <b>X</b> の再起動         | 19 |
| 4  | .3. 自動   | ログインしないようにするには        | 19 |

## 表目次

| 表 | 1-1 | インストールPCの推奨スペック   | 2  |
|---|-----|-------------------|----|
| 表 | 1-2 | 使用しているフォント        | 2  |
| 表 | 1-3 | 表示プロンプトと実行環境の関係   | 2  |
| 表 | 2-1 | デフォルトのユーザ名とパスワード  | 7  |
| 表 | 3-1 | 取得ファイル名           | 9  |
| 表 | 3-2 | デフォルトのユーザ名とパスワード1 | 15 |
| 表 | 4-1 | シリアルポート名の例1       | 17 |

#### 図目次

| 义 | 2-1 VMPlayerインストーラ起動画面 ······4          |
|---|---|
| 义 | 2-2 インストール場所の指定画面4                      |
| 义 | 2-3 ショートカット作成場所の指定画面                    |
| 义 | <b>2-4 Google</b> 検索バーの指定画面             |
| 义 | 2-5 設定確認画面                              |
| 义 | 2-6 インストール完了画面                          |
| 义 | 2-7 vmxファイル指定画面                         |
| 义 | 2-8 VMPlayer削除画面                        |
| 义 | <b>3-1 Linux</b> での <b>zip</b> ファイルの展開9 |
| 义 | 3-2 kernel-headersインストール例               |
| 义 | 3-3 rpmでのインストール方法10                     |
| 义 | 3-4 rpmをdeb形式へ変換                        |
| 义 | 3-5 dpkgでのインストール方法10                    |
| 义 | 3-6 VMPlayer 設定画面                       |
| 义 | 3-7 アーカイブファイルの展開                        |
| 义 | <b>3-8 vmware-install.pl</b> でのインストール方法 |
| 义 | 3-9 VMPlayerの起動14                       |
| 义 | 3-10 ライセンス同意画面                          |
| 义 | 3-11 VMPlayer起動エラーメッセージ                 |
| 义 | 3-12 エラーの解決例                            |
| 义 | 3-13 vmxファイル指定画面                        |
| 义 | 3-14 rpmでのアンインストール方法16                  |
| 义 | 3-15 dpkgでのアンインストール方法                   |
| 义 | 3-16 vmware-uninstall.plでのアンインストール方法    |
| 义 | 3-17 ATDEディレクトリの削除16                    |
| 义 | 4-1 VMware設定ファイルの変更                     |
| 义 | 4-2 シリアルポートへのアクセスエラー                    |
| 义 | 4-3 画面解像度の設定例                           |
| 义 | 4-4 ログイン画面の設定1                          |
| 义 | <b>4-5 root</b> パスワード入力画面20             |
| 义 | <b>4-6</b> ログイン画面の設定2                   |

# 1. はじめに

ATDE (Atmark Techno Development Environment) は、VMware 上で動作するアットマークテクノ製品の開発環境です。Debian GNU/Linux をベースに、開発に必要なクロスコンパイラや必要なツールが事前にインストールされています。ATDE を使うことで、開発用 PC の用意やクロスコンパイラのインストールなど、開発環境の構築を容易にします。ATDE の初期状態でインストールされているソフトウェアは以下の URL で確認することができます。

http://download.atmark-techno.com/atde/atde-dpkg-list.txt



# NWware とは

Windows または Linux 上で任意の仮想マシンを実行できるようにするソフトウェアです。標準的な デスクトップアプリケーションと同じようにインストールでき、その後仮想マシンを別のウィンド ウ内で実行できます。本書の執筆時点では英語版のみの公開となっています。なお、本書では VMware Player を VMPlayer と略します。

# 1.1. 対象となる読者

本書の対象となる読者は、Windows または Linux をお使いで、アットマークテクノ製品用の開発環境を簡単に構築したい方です。また、Windows または Linux の基本的な使い方を理解していることを前提にしています。

# 1.2. 本書の構成

本書は、ATDE を使用する上で必要な情報のうち、以下の点について記述されています。

- VMP1ayer のインストール方法
- ATDE の起動方法
- VMPlayer のアンインストール方法
- ATDE からシリアルポートを使用した場合の動作確認
- ATDEの画面解像度の設定
- ATDE で自動ログインしないようにする

# 1.3. インストール PC の推奨スペック

#### 表 1-1 インストール PC の推奨スペック

| 項目                       | スペック                                       |  |  |  |
|--------------------------|--|--|--|--|
| CPU                      | 1.5GHz またはそれ以上                             |  |  |  |
| <b>メモリ</b> 512MB またはそれ以上 |  |  |  |  |
| HDD                      | HDD 10GB またはそれ以上の空き容量                      |  |  |  |
| OS                       | OS x86のWindowsまたはLinux                     |  |  |  |
| その他                      | シリアルポート(USB-シリアル変換アダプターを含む)が1ポ<br>ート以上あること |  |  |  |

# 1.4. フォントについて

本書では以下のようにフォントを使っています。

表 1-2 使用しているフォント

| フォント例              | 説明             |
|--------------------|----------------|
| 本文中のフォント           | 本文             |
| [PC ~]\$ <b>Is</b> | プロンプトとユーザ入力文字列 |
|                    | コマンド実行後の出力を省略  |

# 1.5. コマンド入力例の表記について

本書に記載されているコマンドの入力例は、表示されているプロンプトによって、それぞれに対応した実 行環境を想定して書かれています。「/」の部分はカレントディレクトリによって異なります。各ユーザのホ ームディレクトリは「<sup>~</sup>」で表わします。

| フォント例      | 説明                |
|------------|-------------------|
| [PC /]#    | 作業用 PC 上の特権ユーザで実行 |
| [PC /]\$   | 作業用 PC 上の一般ユーザで実行 |
| [ATDE /]#  | ATDE 上の特権ユーザで実行   |
| [ATDE /]\$ | ATDE 上の一般ユーザで実行   |

表 1-3 表示プロンプトと実行環境の関係

# 1.6. 注意事項

本書で紹介するソフトウェア(付属のドキュメント等も含みます)は、現状のまま(AS IS)提供されるもの であり、特定の目的に適合することや、その信頼性、正確性を保証するものではありません。また、本製品 の使用による結果についてもなんら保証するものではありません。

# 2. Windows 上に ATDE を構築する

この章では Windows に VMPlayer をインストールし、ATDE が起動するまでの手順を説明します。

# 2.1. インストールの前に

インストールを始める前にインストールに必要なファイルやツールを用意します。

## 2.1.1. 準備するもの

ATDE を使うためには以下のものが必要です。

- ATDE イメージ
   ATDE イメージ (atde.zip) は、ATDEデータCD-ROM (以降「付属CD」とします)の/vmwareフォルダにあります。弊社ダウンロードサイト (http://download.atmark-techno.com/atde/)からも取得できます。
- VMPlayerのインストーラ
   VMPlayerのインストーラ (VMware-player.exe) は、VMPlayerダウンロードサイト (http://www.vmware.com/download/player/) から取得できます。

## 2.1.2. ATDE イメージの展開

用意した atde. zip を任意のフォルダに展開します。

# **TIPS** 展開ソフトによっては展開に失敗する場合があります。WindowsXPの標準機能で正常に展開で きることを確認しています。

# 2.2. VMPIayer のインストール

VMPlayer のインストール手順を説明します。



① ダウンロードした VMware-player. exe を起動し、「Next」ボタンをクリックします。

図 2-1 VMPlayer インストーラ起動画面

② インストールフォルダを指定し、「Next」ボタンをクリックします。

| 😼 VMware                      | Player  |                  |                           | X              |
|-------------------------------|---|------------------|---------------------------|----------------|
| <b>Destinati</b><br>Click Ne> | on Folder<br>It to install to this folder, or clic      | k Change to inst | all to a different folder | <del>ک</del>   |
|                               | Install VMware Player to:<br>C:¥Program Files¥VMware¥VM | Mware Player¥    |                           | <u>C</u> hange |
| InstallShield –               |   | < <u>B</u> ack   | Next >                    | Cancel         |

図 2-2 インストール場所の指定画面

③ ショートカットを作成する場所を指定し、「Next」ボタンをクリックします。

| 😸 VMware Player   |          |
|---|----------|
| Configure Shortcuts Creates program shortcuts               | <b>1</b> |
| Create shortcuts for VMware Player in the following places: |          |
| InstallShield   |          |
| < <u>Back</u>   | Cancel   |

## 図 2-3 ショートカット作成場所の指定画面

④ VMPlayer に Google 検索バーを付ける場合にはチェックを入れて「Next」ボタンをクリックします。

| 🛃 VMware Player                          | ×                 |
|--|-------------------|
| Configure Product                        |                   |
| Configure miscellaneous product settings | ~                 |
|  |                   |
|  |                   |
|  |                   |
|  |                   |
|  |                   |
|  |                   |
| Enable the Google searchbar              |                   |
|  |                   |
| < <u>F</u>                               | ack Next > Cancel |

図 2-4 Google 検索バーの指定画面

⑤ 「Install」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。

| 🔂 VMware Player   |                                 |
|---|---------------------------------|
| The wizard is ready to begin installation.  | <u> </u>                        |
| Click Install to begin the installation.<br>If you want to review or change any of your installation settin<br>exit the wizard. | gs, click Back. Click Cancel to |
| InstallShield   | Install Cancel                  |

図 2-5 設定確認画面

 ⑥ インストールが終了すると、図 2-6 が表示されます。「Finish」ボタンをクリックしてインストーラを 終了してください。



図 2-6 インストール完了画面

# 2.3. ATDE の起動

インストールした vmplayer.exe を実行します。VMPlayer が起動すると、ファイルダイアログが開きます。 「2.1.2. ATDE イメージの展開」で展開した atde フォルダにある atde.vmx を指定してください。

| Browse for virtu                        | al machine confi | uration file                          |       |       | ? 🗙   |
|---|------------------|---------------------------------------|-------|-------|-------|
| ファイルの場所型:                               | 🚞 atde-20061130  |                                       | 🖌 🕝 🖻 | D 📂 🎞 |       |
| していていていていていていていていていていています。<br>最近使ったファイル | 🚰 atde           |                                       |       |       |       |
| <b>び</b><br>デスクトップ                      |                  |                                       |       |       |       |
| ک<br>۲۲ ۴¥۱۶۷                           |                  |                                       |       |       |       |
| ער דא<br>ארבאנב אד                      |                  |                                       |       |       |       |
| र्<br>र्न रूंग्रे-प्र-७                 | 7-74200          | <u></u>                               |       |       |       |
|   | ファイルの種類(I):      | I<br>VMware Configuration Files (*.∨m | IX)   | ×     | キャンセル |

図 2-7 vmx ファイル指定画面

ログインユーザは、次の2種類が用意されています。デフォルトの設定では、「atmark」で<u>自動ログイン</u>\*1 します。

## 表 2-1 デフォルトのユーザ名とパスワード

| ユーザ名   | パスワード  | 権限    |
|--------|--------|-------|
| root   | root   | 特権ユーザ |
| atmark | atmark | 一般ユーザ |

<sup>\*1</sup>自動的にログインさせたくないときは「4-3自動ログインしないようにするには」を参照してください。

# 2.4. アンインストール

# 2.4.1. VMPIayer のアンインストール

「スタートメニュー」の「コントロールパネル」にある「プログラムの追加と削除」から VMware Player を選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。

| 🐻 プログラムの道                      | 加と削除  |              |                |
|--------------------------------|---|--------------|----------------|
|                                | 現在インストールされているプログラム: 回 更新プログラムの表示(型)   | 並べ替え(S): 名前  | *              |
| - 70クラム()<br>変更と削除( <u>H</u> ) | Microsoft Office Personal Edition 2003  | リイス          | 97.48WB        |
|                                | <ul> <li>Mosesh office referred 200</li> <li>Mozilla Firefox (2.0)</li> </ul> | サイズ          | 18.89MB        |
| <b>シ</b> ログラムの                 | S Mozilla Thunderbird (1.5)   | サイズ          | 23.18MB        |
| 道加创                            | 🜠 Multimedia Launcher   | サイズ          | 0.50MB         |
| r h                            | 🥶 Nero OEM  | サイズ          | 48.26MB        |
| Windows                        | e PowerDVD  | サイズ          | 32.24MB        |
| コンポーネントの<br>追加と削除(A)           | 🔯 PowerProducer   | サイズ          | 244.00MB       |
| A COMENTATION OF               | 🙀 Realtek High Definition Audio Driver  | サイズ          | 40.91 MB       |
|                                | 🖳 UTF-8 TeraTerm Pro with TTSSH2 4.44   | サイズ          | 12.24MB        |
| プログラムの                         | 🖶 VMware Player   | サイズ          | <u>55.43MB</u> |
| 既定の設定(2)                       | <u>サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。</u>   | 使用頻度         | ā 📄            |
|                                |   | 最終便用日 2      | 2006/12/11     |
|                                | このノロジラムを変更したり、コンピュータから削除したりするには、「変更」または、頂仰ください。                               | 利 をクリックして 変更 | 削除             |
|                                | 👸 Windows Installer 3.1 (KB893803)  |              |                |
|                                | 👸 Windows Rights Management クライアント Service Pack 2                             | サイズ          | 3.42MB         |
|                                | 🐻 Windows Rights Management クライアント後方互換性 SP2                                   | サイズ          | 0.30MB 🥃       |

図 2-8 VMPlayer 削除画面

# 2.4.2. atde フォルダの削除

もしデータが必要ないのであれば、「2.1.2 ATDE イメージの展開」で展開した atde フォルダを削除してください。

# 3. Linux 上に ATDE を構築する

この章ではLinux へ VMPlayer をインストールし、ATDE が起動するまでの手順を説明します。

# 3.1. インストールの前に

インストールを始める前にインストールに必要なファイルやツールを用意します。

## 3.1.1. 準備するもの

ATDE を使うためには以下のものが必要です。

- ATDE イメージ ATDEイメージ (atde.zip) は、付属CDの/vmwareディレクトリにあります。弊社ダウンロー ドサイト (http://download.atmark-techno.com/atde/) からも取得できます。
- VMPlayerのアーカイブファイル
   VMPlayerのアーカイブファイルは、VMPlayerダウンロードサイト (http://www.vmware.com/download/player/)から取得できます。お使いのディストリビュー ションに合わせて、下記のいずれか1つを選択してご利用ください。

#### 表 3-1 取得ファイル名

| ディストリビューション | ファイル名                                       |  |  |
|-------------|---|--|--|
| RedHat 系    | VMware-player.i386.rpm                      |  |  |
| Debian系     | VMware-player.i386.rpm(3.2.2.でdeb形式に変換します。) |  |  |
| インストーラ非使用   | VMware-player.tar.gz                        |  |  |

## 3.1.2. ATDE イメージの展開

用意した atde. zip を任意のディレクトリに展開します。 コンソールから以下のコマンドを実行してください。

```
[PC ~]$ unzip atde.zip
[PC ~]$ Is
atde atde.zip
```

## 図 3-1 Linux での zip ファイルの展開

## 3.1.3. kernel-headers のインストール

VMPlayer のインストールには、kernel-headers がインストールされている必要があります。 kernel-headers (または glibc-kernelheaders か linux-headers) は、お使いの kernel と同じバージョン のものをインストールしてください。 以下は、Debian GNU/Linux 3.1 でインストールする場合の例です。

[PC ~]# apt-get install kernel-headers-`uname -r`

```
図 3-2 kernel-headers インストール例
```

# 3.2. VMware のインストール

ATDE を動作させるために必要な VMPlayer のインストール手順を説明します。

## 3.2.1. RedHat 系ディストリビューションの場合

VMware-player.i386.rpmを使ってインストールします。 2行目のコマンド実行後は図 3-6の画面になります。

> [PC ~]# rpm -ivh VMware-player.i386.rpm [PC ~]# vmware-config.pl ・・・図 3-6 へ

## 図 3-3 rpm でのインストール方法

## 3.2.2. Debian 系ディストリビューションの場合

VMware-player.i386.rpm を deb 形式に変換します。

[PC ~]\$ dpkg -l alien
alien に一致するパッケージが見つかりません。
[PC ~]\$ sudo apt-get install alien
 :
[PC ~]\$ fakeroot alien -d -c -k VMware-player.i386.rpm
[PC ~]\$ ls
vmwareplayer.i386.deb

## 図 3-4 rpm を deb 形式へ変換

図 3-4 で作成した deb パッケージを使ってインストールします。 2行目のコマンド実行後は図 3-6 の画面になります。

> [PC ~]# dpkg -i vmwareplayer.i386.deb [PC ~]# vmware-config.pl ・・・図 3-6 へ

> > 図 3-5 dpkg でのインストール方法

# ATDE Install Guide

You must read and accept the End User License Agreement to continue. Press enter to display it.  $\cdot \cdot \cdot (1)$ Do you accept? (yes/no) yes  $\cdot \cdot \cdot (2)$ In which directory do you want to install the mime type icons? [/usr/share/icons]  $\cdot \cdot \cdot (3)$ What directory contains your desktop menu entry files? These files have a · · · (4) .desktop file extension. [/usr/share/applications] In which directory do you want to install the application's icon? [/usr/share/pixmaps] · · · (5) None of the pre-built vmmon modules for VMware Player is suitable for your running kernel. Do you want this program to try to build the vmmon module for your system (you need to have a C compiler installed on your system)?  $\cdot \cdot \cdot (6)$ [yes] What is the location of the directory of C header files that match your running kernel? [/lib/modules/2.4.27-3-386/build/include]  $\cdot \cdot \cdot (7)$ Would you like to skip networking setup and keep your old settings as they are? (yes/no) [yes]  $\cdot \cdot \cdot (8)$ You can now run VMware Player by invoking the following command: "/usr/bin/vmplayer". Enjoy, --the VMware team [PC ~]#

## 図 3-6 VMPlayer 設定画面

- (1) [Enter]キーを押すとライセンス同意書が表示されます。
- (2) (1)で表示されたライセンスに同意するかどうか答えます。**yes**とタイプして[Enter]キーを入力してください。
- (3) MIME タイプアイコンをインストールするディレクトリを指定します。
- (4) デスクトップメニューの登録先ディレクトリを指定します。
- (5) VMPlayer のアイコンをインストールするディレクトリを指定します。
- (6) vmmon モジュールをリビルドするかを指定します。
- (7) kernel ヘッダーファイルのあるディレクトリを指定します。
- (8) ネットワークの設定をスキップするかを答えます。

TIPS デフォルトの設定で良い場合、(2)以外は[Enter]キーを入力すればよいでしょう。

# 3.2.3. インストーラ非使用の場合

アーカイブファイルを展開します。

[PC ~]\$ **tar zxvf VMware-player.tar.gz** [PC ~]\$ **Is** vmware-player-distrib VMware-player.tar.gz

## 図 3-7 アーカイブファイルの展開

展開したディレクトリにあるインストールスクリプトを使ってインストールします。

| [PC ~]\$ cd vmware-player-distrib  |                                   |
|--|-----------------------------------|
| FILES bin doc etc installer lib vmware-i   | nstall.pl                         |
| [PC ~/vmware-player-distrib]\$ sudo ./vmware-install.pl  |                                   |
| Installing the content of the package.   |                                   |
| In which directory do you want to install the binary files?<br>[/usr/bin]  | •••(1)                            |
| :<br>What is the directory that contains the init directories (rc0.d/ to<br>[/etc]   | rc6.d/)?<br>•••(2)                |
| What is the directory that contains the init scripts?<br>[/etc/init.d]   | •••(3)                            |
| In which directory do you want to install the library files?<br>[/usr/lib/vmware]<br>:   | •••(4)                            |
| The path "/usr/lib/vmware" does not exist currently. This program is create it, including needed parent directories. Is this what you war [yes]        | s going to<br>nt?<br>•••(5)       |
| :<br>In which directory do you want to install the documentation files?<br>[/usr/share/doc/vmware]   | •••(6)                            |
| The path "/usr/share/doc/vmware" does not exist currently. This prog<br>going to create it, including needed parent directories. Is this what<br>[yes] | gram is<br>at you want?<br>•••(7) |
| You must read and accept the End User License Agreement to continue.<br>Press enter to display it.   | •••(8)                            |
| Do you accept? (yes/no) <b>yes</b>   | •••(9)                            |
| In which directory do you want to install the mime type icons?<br>[/usr/share/icons]<br>:  | •••(10)                           |

What directory contains your desktop menu entry files? These files have a .desktop file extension. [/usr/share/applications]  $\cdot \cdot \cdot (11)$ In which directory do you want to install the application's icon? [/usr/share/pixmaps]  $\cdot \cdot \cdot (12)$ 1 None of the pre-built vmmon modules for VMware Player is suitable for your running kernel. Do you want this program to try to build the vmmon module for your system (you need to have a C compiler installed on your system)? [yes]  $\cdot$   $\cdot$   $\cdot$  (13) What is the location of the directory of C header files that match your running kernel? [/lib/modules/2.4.27-3-386/build/include]  $\cdot \cdot \cdot (14)$ Do you want networking for your virtual machines? (yes/no/help) ...(15)[yes] Do you want to be able to use NAT networking in your virtual machines? (yes/no) [yes]  $\cdot \cdot \cdot (16)$ Do you want this program to probe for an unused private subnet? (yes/no/help) [yes]  $\cdot \cdot \cdot (17)$ Do you wish to configure another NAT network? (yes/no) [no] ...(18)Do you want to be able to use host-only networking in your virtual machines? [yes]  $\cdot \cdot \cdot (19)$ 1 Do you want this program to probe for an unused private subnet? (yes/no/help) [ves]  $\cdot \cdot \cdot (20)$ Do you wish to configure another host-only network? (yes/no) [no]  $\cdot \cdot \cdot (21)$ Would you like to enable the Google searchbar? (yes/no) [no]  $\cdot \cdot \cdot (22)$ Enjoy, --the VMware team [PC ~/vmware-player-distrib]\$

#### 図 3-8 vmware-install.pl でのインストール方法

- (1) 実行ファイルをインストールするディレクトリを指定します。
- (2) init ディレクトリのあるディレクトリを指定します。
- (3) init スクリプトのあるディレクトリを指定します。
- (4) VMPlayer のライブラリをインストールするディレクトリを指定します。
- (5) (4)で指定したディレクトリが存在しない場合に作成するかどうか答えます。
- (6) ドキュメントファイルをインストールするディレクトリを指定します。
- (7) (6)で指定したディレクトリが存在しない場合に作成するかどうか答えます。
- (8) [Enter]キーを入力するとライセンス同意書が表示されます。
- (9) (8) で表示されたライセンスに同意するかどうか答えます。yes とタイプして[Enter] キーを入力してください。
- (10) MIME タイプアイコンをインストールするディレクトリを指定します。

- (11) デスクトップメニューの登録先ディレクトリを指定します。
- (12) VMPlayer のアイコンをインストールするディレクトリを指定します。
- (13) vmmon モジュールをリビルドするかを指定します。
- (14) kernel ヘッダーファイルのあるディレクトリを指定します。
- (15) VMPlayer でネットワークに接続するかを指定します。
- (16) VMPlayer でホスト OS と IP アドレスを共有するか答えます。
- (17) (16)の準備をするかを指定します。
- (18) 他に(16)の設定をするかを指定します。
- (19) VMPlayer を動かしているマシンを経由してネットワークを使用するかを指定します。
- (20) VMPlayer を動かしているマシンとのネットワークの使用を準備するかを指定します。
- (21) 他のネットワークを設定するかを指定します。
- (22) Google 検索バーを使うかを指定します。

TIPS デフォルトの設定で良い場合、(9)以外は[Enter]キーを入力すればよいでしょう。

# 3.3. ATDE の起動

① コンソールで次のように入力します。

[PC ~]\$ vmplayer

#### 図 3-9 VMPlayer の起動

② ライセンス同意画面が表示されます。「Accept」ボタンをクリックしてください。

| <b>1</b> | End User License Agreement   | × |
|----------|--|---|
|          | End User License Agreement   |   |
| 2        | To run VMware Player,<br>please read and accept the end user license agreement   |   |
|          | VMWARE MASTER END USER LICENSE AGREEMENT   | • |
|          | NOTICE: BY DOWNLOADING AND INSTALLING,<br>COPYING OR OTHERWISE USING THE SOFTWARE, YOU<br>AGREE TO BE BOUND BY THE TERMS OF THIS EULA.<br>IF YOU DO NOT AGREE TO THE TERMS OF THIS EULA,<br>YOU MAY NOT DOWNLOAD, INSTALL, COPY OR USE THE<br>SOFTWARE, AND YOU MAY RETURN THE UNUSED<br>SOFTWARE TO THE VENDOR FROM WHICH YOU ACQUIRED<br>IT WITHIN THIRTY (30) DAYS AND REQUEST A<br>REFUND OF THE LICENSE FEE, IF ANY, ALREADY<br>PAID UPON SHOWING PROOF OF PAYMENT. "YOU"<br>MEANS THE NATURAL PERSON OR THE ENTITY THAT IS<br>AGREEING TO BE BOUND BY THIS EULA, THEIR<br>EMPLOYEES AND THIRD PARTY CONTRACTORS THAT |   |
|          | 🗶 Decline 🖉 Accept   |   |

図 3-10 ライセンス同意画面

ここで、VMPlayer が、/usr/lib/vmware/lib/libgcc\_s.so.1/libgcc\_s.so.1をロードしようとしてエラ ーが発生する場合があります。コンソールから起動した場合は以下のようなエラーメッセージが表示され ます。

(vmplayer:5411): libgnomevfs-WARNING \*\*: Cannot load module `/usr/lib/gnome-vfs-2.0/modules/libfile.so' (/usr/lib/vmware/lib/libgcc\_s.so.1/libgcc\_s.so.1: version `GCC\_4.2.0' not found (required by /usr/lib/libstdc++.so.6))

#### 図 3-11 VMPIayer 起動エラーメッセージ

この場合はコンソールから次のコマンドを実行してください。

[PC ~]\$ cd /usr/lib/vmware/lib/libgcc\_s.so.1
[PC ~]\$ sudo mv libgcc\_s.so.1 libgcc\_s.so.1.bak

#### 図 3-12 エラーの解決例

③ ファイルダイアログが開きます。「3.1.2. ATDE イメージの展開」で展開した atde ディレクトリにある atde. vmx を指定してください。

| <b>Ø</b>        | Open Virtual Machine | X                        |
|-----------------|----------------------|--------------------------|
| ☐ root 図 デスクトップ | var vmware atd       | e-20061130               |
|                 | 名前                   | ▼ 最終変更日                  |
|                 | 🙆 atde.vmx           | 今日                       |
|                 |                      |                          |
| ◆ 追加(A) ● 削除(B) |                      | Virtual Machines (*.vmx) |
|                 | ×                    | キャンセル(C)                 |

図 3-13 vmx ファイル指定画面

ログインユーザは、次の2種類が用意されています。デフォルトの設定では、「atmark」で<u>自動ログイン</u>\*1 します。

| ユーザ名   | パスワード  | 権限    |
|--------|--------|-------|
| root   | root   | 特権ユーザ |
| atmark | atmark | 一般ユーザ |

#### 表 3-2 デフォルトのユーザ名とパスワード

<sup>\*1</sup>自動的にログインさせたくないときは「4-3 自動ログインしないようにするには」を参照してください。

# 3.4. アンインストール

- 3.4.1. VMware のアンインストール
  - RedHat系ディストリビューションの場合 以下のコマンドを実行します。

[PC ~]# **rpm -e vmwareplayer** 

#### 図 3-14 rpm でのアンインストール方法

 Debian 系ディストリビューションの場合 以下のコマンドを実行します。

[PC ~]# dpkg -r vmwareplayer

[PC ~]# dpkg -purge vmwareplayer

[PC ~]# rm -rf /etc/vmware /usr/lib/vmware/

## 図 3-15 dpkg でのアンインストール方法

 インストーラ非使用の場合 以下のコマンドを実行します。

[PC ~]# vmware-uninstall.pl

## 図 3-16 vmware-uninstall.pl でのアンインストール方法

## 3.4.2. atde ディレクトリの削除

もしデータが必要ないのであれば、「3.1.2. ATDE イメージの展開」で展開した atde フォルダを削除してください。

[PC ~]\$ **Is** atde [PC ~]\$ **rm -rf atde** 

## 図 3-17 ATDE ディレクトリの削除

# 4. Appendix

# 4.1. シリアルポートに関して

通常、何も設定しなくても ATDE からシリアルポートを使用することができます。

## 4.1.1. 動作確認方法

ATDE が動作している状態で PC とシリアル機器を接続し、電源を入れて動作を確認してください。

## 4.1.2. 動作しない場合の対処方法

 PC にシリアルポートが複数ある場合、atde¥atde¥atde.vmx(Linux の場合は atde/atde/atde.vmx)ファイルをテキストエディタで開き、serial0.fileNameの値を適切に変 更してください。

| <pre>serial0.present = "TRUE" serial0.fileName = "Auto detect" serial0.autodetect = "TRUE"</pre> | この箇所を変更します |
|--|------------|
|--|------------|

図 4-1 VMware 設定ファイルの変更

| 表 4-1 シリアルボート名 | 名の例 |
|----------------|-----|
|----------------|-----|

| OS      | シリアルポートのデバイス名                          |
|---------|--|
| Windows | COM1, COM2 等                           |
| Linux   | /dev/ttySO, /dev/ttyS1, /dev/ttyUSBO 等 |

- VMP1ayer のメニューバーにある「Serial」ボタン (USB-シリアル変換アダプター使用時は「USB device」ボタン) が押された状態になっているかを確認してください。
- Windows 使用時に図 4-2 のような画面が表示された場合はすでにシリアルポートが使用されています。エラーメッセージに書かれているシリアルポートを開放してください。

| VMware | Player  |    |
|--------|---|----|
| !      | serial0: Unable to open the "COM1" serial port: アクセスが拒否されました。.<br>Virtual device serial0 will start disconnected. |    |
|        |   | ОК |

## 図 4-2 シリアルポートへのアクセスエラー

# 4.2. ATDE の画面解像度を変更する

ATDE の画面解像度を変更する手順を説明します。

## 4.2.1. ATDE を起動する

- Windows の場合
   「2.3. ATDE の起動」を参照しATDE を起動してください。
- Linux の場合
   「3.3. ATDE の起動」を参照し ATDE を起動してください。

## 4.2.2. 画面解像度を変更する

以下では設定例として、画面解像度を"1280×1024"に設定しています。

| [ATDE ~]\$ sudo vmware-config-tools.pl  |
|---|
| :<br>None of the pre-built vmhgfs modules for VMware Tools is suitable for your<br>running kernel. Do you want this program to try to build the vmhgfs<br>module for  |
| your system (you need to have a C compiler installed on your system)?<br>[yes] (1)  |
| What is the location of the directory of C header files that match your running kernel? [/lib/modules/2 6 8-3-686/build/include]  |
| :   |
| Do you want to change your guest X resolution? (yes/no) [no] yes $\cdots$ (2)   |
| Please choose one of the following display sizes (1 - 13):  |
| <pre>[1] "640x480"<br/>[2] "800x600"<br/>[3] "1024x768"<br/>[4] "1152x864"<br/>[5] "1280x800"<br/>[6]&lt; "1152x900"<br/>[7] "1280x1024"<br/>[8] "1376x1032"<br/>[9] "1400x1050"<br/>[10] "1680x1050"<br/>[11] "1600x1200"<br/>[12] "1920x1200"<br/>[12] "1920x1200"<br/>[13] "2364x1773"<br/>Please enter a number between 1 and 13:</pre> |
| [3] <b>7</b><br>:   |

: Enjoy, --the VMware team

[ATDE ~]#

#### 図 4-3 画面解像度の設定例

- (1) Cコンパイラがインストールされているのでそのまま[Enter]キーを入力します。
- (2) ATDE の画面解像度を変更するかを答えます。yes とタイプして[Enter]キーを入力してください。
- (3) お使いのモニタに合った画面解像度を番号で指定して[Enter]キーを入力してください。

## 4.2.3. Xの再起動

[Ctr1]+[A1t]+[BackSpace]キーを入力し、X を再起動して画面解像度の設定を反映します。再起動が完了 すると、指定した画面解像度で起動します。

# 4.3. 自動ログインしないようにするには

ATDE の起動時に、自動的にログインをしないようにする手順を説明します。

① アプリケーション>システム・ツール>ログイン画面の設定を選択します。



図 4-4 ログイン画面の設定1

② root のパスワードを聞かれるので、「root」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 4-5 root パスワード入力画面

③ 「起動してすぐに自動でログインする」のチェックを外します。

|                               | ログイン                 | 画面の設定    |       | ×                 |
|-------------------------------|----------------------|----------|-------|-------------------|
| 全般 標準の Greeter グラフィカルな Gre    | eter セキュリティ          | アクセシビリティ | XDMCP |                   |
| Greeter                       |                      |          |       |                   |
| ローカル( <u>0</u> ):             | 標準の Greeter          | \$       |       |                   |
| リモート( <u>R</u> ):             | 標準の Greeter          | \$       |       |                   |
| □ 常に 24時間制の書式を使用する(K)         |                      |          |       |                   |
| ウェルカム・メッセージ( <u>W</u> ):      | Welcome              |          |       |                   |
| リモートのウェルカム・メッセージ( <u>M</u> ): | Welcome to %n        |          |       |                   |
| 自動ログイン                        |                      |          |       |                   |
| □ 起動してすぐに自動でログインする(止)         | >                    |          |       |                   |
| 自動ログインのユーザ名( <u>A</u> ):      | atmark               | ~        |       |                   |
| 時間指定ログイン                      |                      |          |       |                   |
| □ 指定した時間(秒)が経過したら自動的          | )にログインする( <u>T</u> ) |          |       |                   |
| 時間指定ログインのユーザ名( <u>E</u> ):    |                      | ~        |       |                   |
| 自動ログインまでの時間(秒)( <u>S</u> ):   | 30                   | *<br>*   |       |                   |
| (図ヘルプ(円)                      |                      |          |       | ★ 閉じる( <u>c</u> ) |

図 4-6 ログイン画面の設定2

④ ATDE を再起動します。再起動が完了すると自動的にログインしなくなっています。

改訂履歴

| Ver   | 年月日        | 改訂内容  |
|-------|------------|-------|
| 1.0.0 | 2006.12.28 | ・初版発行 |

# ATDE Install Guide

2006 年 12 月 28 日 version 1.0.0

株式会社アットマークテクノ 060-0035 札幌市中央区北5条東2丁目 AFT ビル6F

TEL:011-207-6550 FAX:011-207-6570